

GCS 経済投資の視点

ヘリコプターマネーに注意せよ!!

2016年8月15日

株式会社ジー・シー・エス

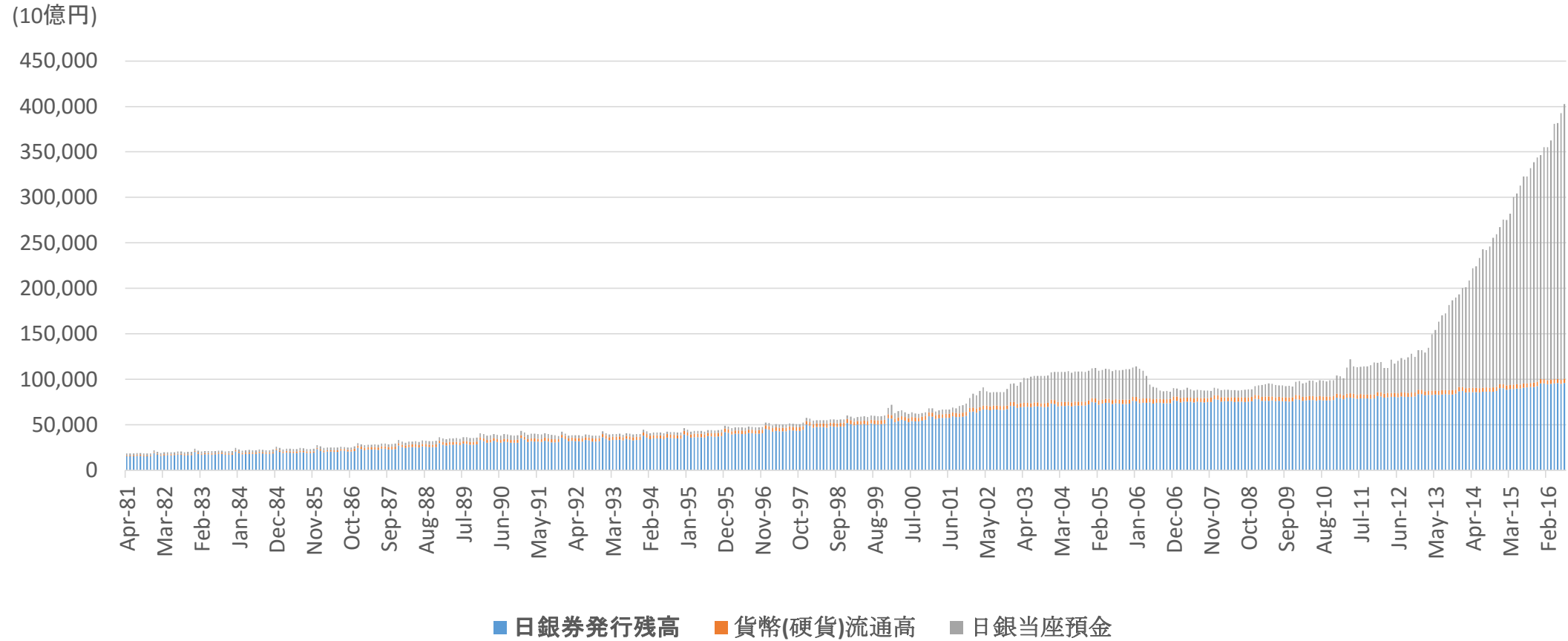
代表取締役 中湖 康太

<http://www.gcs.global>

マイルドなインフレ目標は通貨価値に対する信認があつてこそ

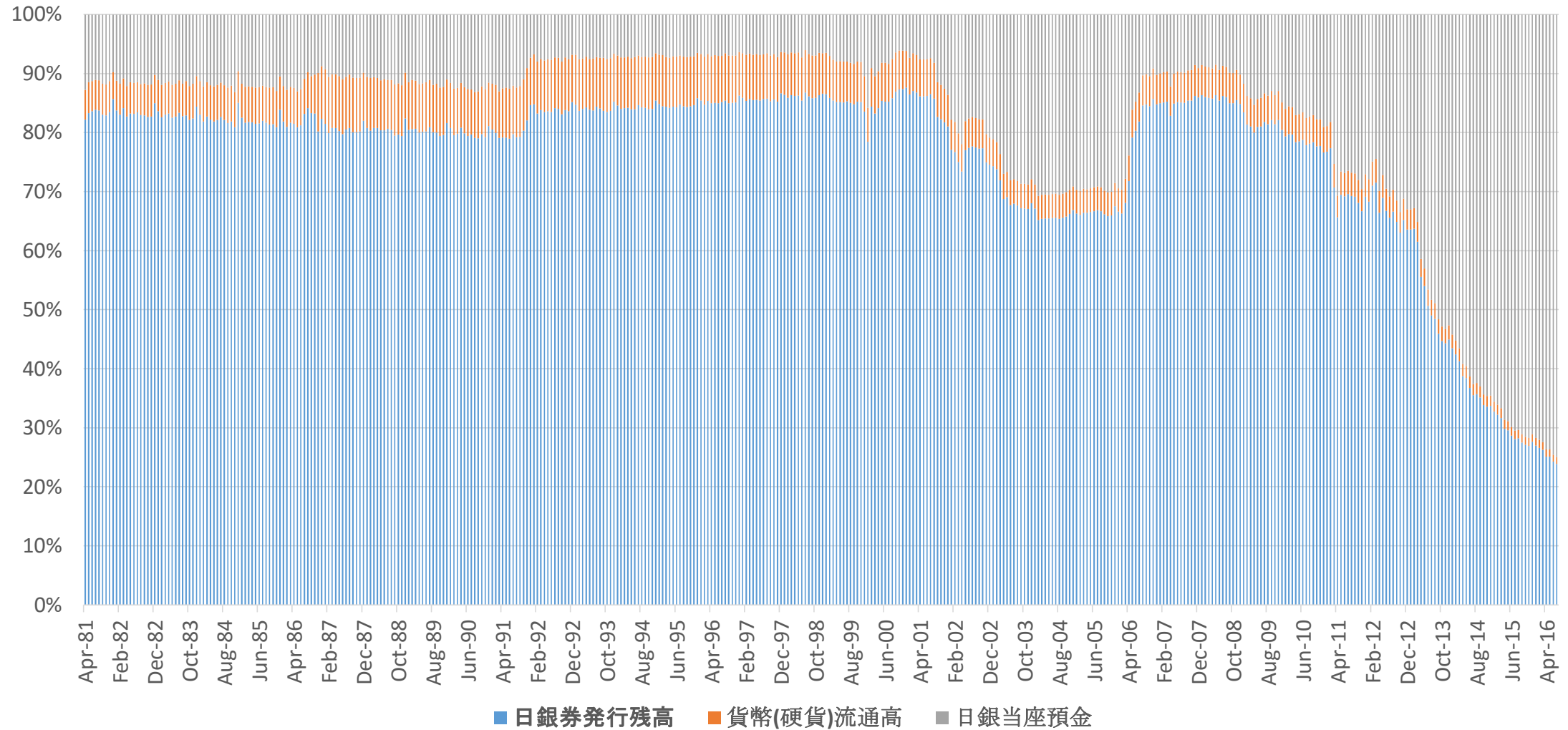
- 量的緩和はよいが日銀券増刷のヘリコプターマネーには警戒が必要
 - 国際的な金価格高騰の背景
- 日銀による国債引き受け(財政ファイナンス)は論外
 - 財政規律の喪失
 - 国際的、国民的な円通貨に対する信用の失墜
 - ハイパーインフレ懸念
 - 所得税、資産税等の大増税懸念
- ヘリコプターマネーは既に現実のものとなっている実態; まだ軽微といえるが・・・
 - 日銀券発行残高は、過去3年で12兆円超増加
 - この間、名目GDP比17.5%から19.0%(2016年3月末時点)に増加
 - 日銀券発行残高は過去10年で20兆円超増加、過去20年で50兆円超増加
 - 名目GDP比は、8.0%(20年前)、14.7%(10年前)から19.0%に増加

マネタリーベース残高と内訳の推移



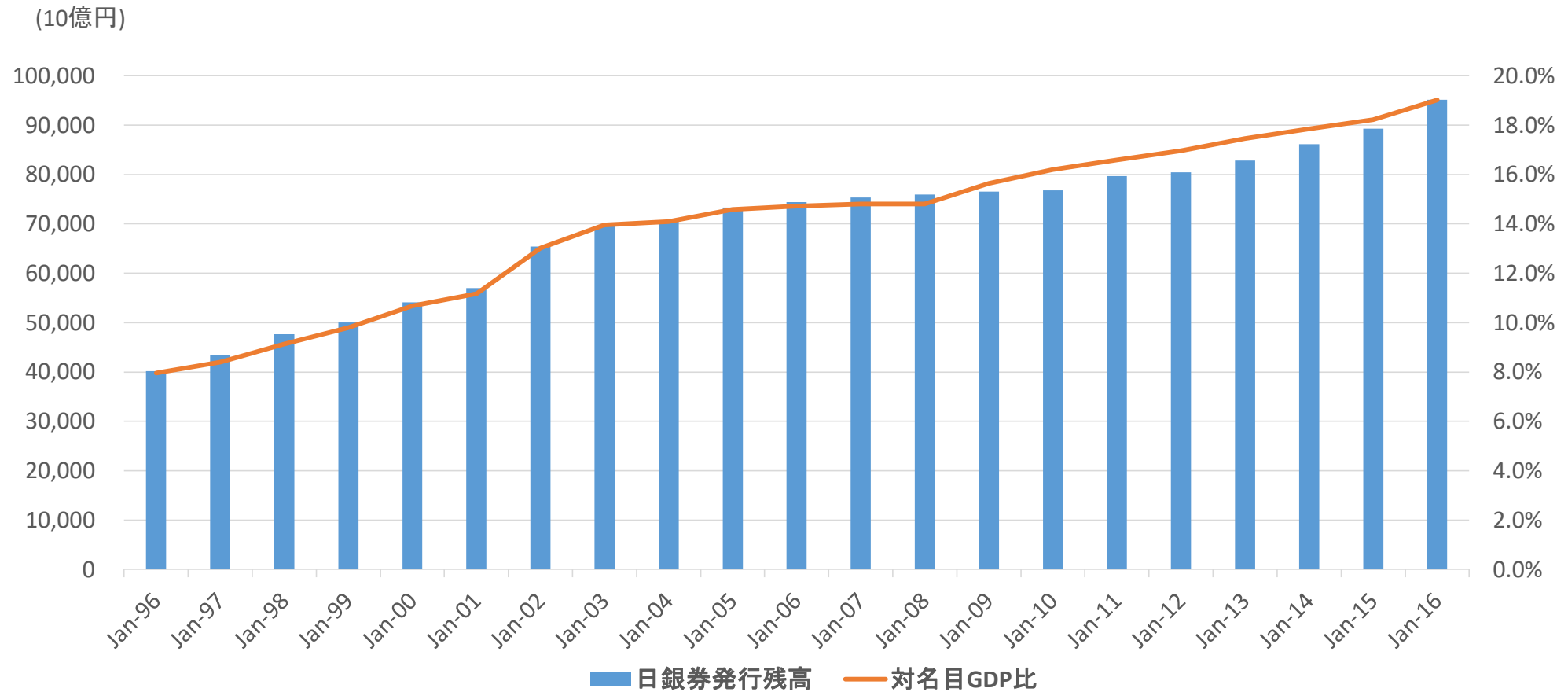
出所: 日本銀行統計データを基にGCS作成

マネタリーベース 構成比



出所: 日本銀行統計データを基にGCS作成

日銀券発行残高と名目GDP比



出所: 日本銀行、内閣府公表データを基にGCS作成

注意事項

- 本資料は経済及び証券分析による調査研究を目的とするものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料は、当社及びその作成者が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、GCS及び資料等の作成者は、資料等の記載内容が、真実かつ正確であること、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことについて、保証又は承認するものではありません。GCSの資料等に含まれる情報や意見（以下情報等）は、いかなる目的で利用される場合におきましても、その利用者の判断と責任において使用されるべきものであり、資料等に含まれる情報等の使用による結果について、GCS及びその作成者は何ら責任を負うものではありません。資料等の内容、情報等はすべて作成時点のものであり、その後の経済状況等の変化により変わる可能性があります。今後予告なく変更されることがあります。